

ベストリーダー発表!

今年度4月から9月までに 多く貸し出された本です。

- | | | |
|---|---|---|
| <p>☆一般書・社会分野 ベスト3</p> <ul style="list-style-type: none"> 『東日本大震災』(毎日新聞社) 『資格図鑑 2012』(クイック社) 『人は見た目が9割』(竹内一郎著) | <p>☆一般書・スポーツ分野 ベスト3</p> <ul style="list-style-type: none"> 『心を整える』(長谷部誠著) 『日本男児』(長友佑都著) 『最強世代 1988』(葉丸裕一著) | <p>◎やはり、一般書は社会状況に応じたものがよく読まれています。</p> |
| <p>☆一般書・機械分野 ベスト3</p> <ul style="list-style-type: none"> 『夢をつなぐ』(山崎直子著) 『はやぶさ式思考法』(川口淳一郎著) 『隠される原子力・核の真実』(小出裕章著) | <p>☆郷土資料 ベスト5</p> <ul style="list-style-type: none"> 『まるごと滋賀 300 軒』(リーフパブリケーションズ) 『滋賀 Life』(JTBパブリッシング) 『滋賀・びわ湖・大津・長浜・信楽 '10』(マップルマガジン) 『ふるさと守山めぐり』(守山市立教育研究所) 『守山市誌 地理編』(守山市) | <p>◎児童書は、30代女性がよく借りている図書の上位とほぼ重複します。子どもの頃に読んだ絵本を、自分の子どもと一緒にもう一度楽しんでおられるようです。このように読み継がれていく本ですので、何回も借りられています。</p> |
| <p>☆一般書・物理分野 ベスト2</p> <ul style="list-style-type: none"> 『タイムマシンと時空の科学』(真貝寿明著) 『放射線と放射能』(安斎育郎著) | <p>☆児童図書 ベスト5</p> <ul style="list-style-type: none"> 『11 ぴきのねこ』(馬場のぼる作) 『じごくのそうべえ』(田島征彦作) 『しろくまちゃんのほっとけーき』(わかやまけん作) 『はらぺこあおむし』(エリック・カール作) 『ぐりとぐら』(中川李枝子・山脇百合子作) | <p>◎お読みにになりたい本は予約ができます。図書館カウンターでお申込みいただくか、パスワードをお持ちなら、インターネットから申し込みができます。ご利用ください。</p> |
| <p>☆一般書・電気分野 ベスト2</p> <ul style="list-style-type: none"> 『福島第一原発事故と放射線』(水野倫之著) 『facebook 使いこなし術』(根岸智幸著) | | |

貸出期間の延長ができることはご存知でしょうか?

貸出期間内にお申し出いただきますと、お申し出の日から3週間、1回だけ貸出期間を延長することができます。従来は、カウンターでのお手続きに限っていましたが、4月から、電話・インターネットでもお手続き可能になり、より手軽に延長をしていただけるようになりました。本を読みきれなかったとき、急な用事で図書館にお越しいただけるときなど、ぜひご利用ください。

※1週間貸出の参考資料・他館からの借受本などは対象外です。

※予約のある本・返却日を一日でも過ぎた本については延長することができません。

※インターネットでのお手続きには、予約用と同じパスワードが必要です。カウンターで発行します。

*****利用案内*****

守山市にお住まいの方、通勤・通学されている方、野洲市・草津市・栗東市にお住まいの方は、貸出券がつくれます。住所と氏名が確認できるもの(免許証・保険証など)をお持ちになってカウンターで申し込んでください。

貸出できる冊数は15冊まで、貸出期間は3週間です。 **休館日**：毎週火曜日・祝日・資料整理日・年末年始

開館時間：《月・水・木・金》10:00から20:00まで 《土・日》10:00から18:00まで

としょかん覚えがき



文学歴史散歩(5月20日)長浜方面 講師 太田浩司氏



第1回文学歴史講座(6月22日) 講師 濱修氏



速野小学校ブックトーク(7月8日)



児童図書研究講座(7月30日) 講師 杉原幸氏 齒黒香織氏



本おなおい隊 (8月1日)



本おなおい隊 (8月1日)



としょかんかざり隊 作品



シリーズ「野洲川の生き物と人との関わりを考える」講座 第4回(9月4日) 講師 山崎亨氏



信じよう、本のか

***** はんてんぼく *****

図書館長をさせていただき3年目となりました。年々、貸出冊数が伸びており、昨年度の伸び率は県内の図書館中3番目に高いという嬉しい結果でした。施設整備(耐震補強・改修、照明工事)を進めたことも要因ですが、資料提供を第一に考え、日々の業務を丁寧、親切に対応し、常に業務を見直し改善していく姿勢を持ち続けた結果と思っております。

前回の豊が池発行後に東日本大震災が発生し、原発事故による放射能汚染の問題があり、節電のために辛い猛暑を過ごし、9月には台風の被害も続きました。3.11から7ヶ月が過ぎ、復興に向けて力を合わせていますが、まだまだ長い時間がかかりそうです。

休館していた被災地の図書館が開いたときに、「本は心の滋養だから」と市民がかけつけてくださったそうです。本も空気や水、光と同じように生きていくために必要なものと思われていることは、図書館で働く者にとっては喜びです。

震災で大切な人や大事な物を亡くした悲しみを思うと胸が痛みますが、その悲しみをしっかり受け止め前に進んでいかなければいけません。何もできなくても、その思いに寄り添うことで、見えない力が支援につながっていくのではと思います。

図書館サポートの手始めに「本おなおい隊」を始めました。傷んだ紙芝居の補修からお願いしています。お花を飾ってくださる方たちもおられます。こんなふうに、図書館を大切に思い、良くしていきたいという思いがたくさん集まって、ますます図書館が育つことを願っています。

(館長 三田村悦子)

守山出身の作家国松俊英さんをお迎えしてノンフィクションの魅力についてたっぷりとお話していただきます。

ノンフィクション文学はおもしろい ～事実は小説よりも奇なり～

くにまつとしひで
講師：国松 俊英さん
(児童文学作家)

平成 23 年 10 月 30 日 (日)
午後 1 時 30 分から 3 時まで
守山市立図書館 2 階視聴覚室

守山市立図書館・守山市児童図書研究会 共催

子どもと本に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。予約不要・無料です。

～郷土資料から 本の紹介 『大野新全詩集』 ～

守山に長年お住まいで昨年逝去された詩人、大野新おおのしんさんの『大野新全詩集』(砂子屋書房 2011M911.5)を紹介します。この本は一周忌に合わせて今年の春に出版されたものです。大野新さんは 1928 年(昭和 3 年)に当時の朝鮮全羅北道(現在の韓国群山府)にお生まれになり、終戦後 1945 年(昭和 20 年)11 月に守山市へご家族と共に引き揚げて来られました。1949 年(昭和 24 年)には旧制高知高校から京大法学部へ入学されましたが、結核にかかり 6 年間、療養生活を甲賀郡の国立結核療養所紫香楽園で送られます。この療養生活の間に詩作を始められ、1954 年(昭和 29 年)には近江詩人会に入会されます。その後、H 氏賞を 1977 年(昭和 52 年)に詩集『家』で受賞されるなど、ご活躍されました。近江詩人会の活動においても、編集や事務局を長年担当され、晩年には代表をつとめられました。

この詩集には出版された詩集『階段』『藁の光り』『犬』『家』『続・家』『乾季のおわり』に収録されたものすべの他に、詩集未収録作品 125 編が収められています。大野さんの詩は、生きていることに密着している印象があります。ぜひ、この機会に手にとってご覧ください。

水曜お話を始めました。

9 月より毎週水曜日の午後 2 時から図書館 2 階の集会室にて、4・5 歳児を対象として絵本の読み聞かせを行っています。読み手は守山児童図書研究会のみなさんです。予約不要・無料です。いろいろな絵本に出会えます。ぜひ、お越しください。

なお、従来どおり木曜お話会も毎週木曜日午後 3 時から、開催しています。
来年 4 月からは、水曜お話会のみになります。

大人の方を対象とした行事案内

〈文学・歴史講座〉

守山市読書連絡協議会と共催で、文学と歴史をテーマにした年 3 回の講座を開催しています。この数年でとりあげたテーマは、浅井三姉妹や遺跡の古地震跡など話題のものから、伊能忠敬と守山の関わりなど地元のことまで幅広く、毎回多数の参加があります。次回は 10 月 17 日(月)午後 2 時から、「近江のかくれ里～本に書けなかったこと、書けなかったこと～」と題して、いかいゆり子氏(滋賀文教短期大学司書講習講師)に、白洲正子が歩いた近江について語っていただきます。申し込みは不要、当日先着 80 名、資料代として 300 円が必要です。今後も、さまざまなテーマで開催しますので、どうぞご参加ください。

〈文学・歴史散歩〉

同じく守山市読書連絡協議会と共催で、年 1 回開催しています。これまで県内のさまざまな場所を訪れてきましたが、23 年度は、「浅井家三姉妹の古里を巡る」と題し、5 月 20 日に長浜方面へ出かけました。当日は絶好の散歩日和の中、浅井家ゆかりの地を散策し、遠い歴史に思いをはせました。来年はどこに行くか、お楽しみに。

〈公開朗読会〉

毎月 1 回、一般の利用者を対象に開いています。毎回のテーマにそって、朗読ボランティアの方が作品を抜粋して朗読します。次回は 10 月 22 日(土)午後 2 時からスポーツをテーマに開催します。申し込み不要、無料です。また、視覚に障がいなどがある方で、守山市内にお住まい・通勤通学の方を対象に朗読も行います。事前に図書館までご相談ください。

〈ライブラリーシネマ〉

2 か月に 1 回、視聴覚ライブラリー主催で映画会を開催しています。次回は 11 月 19 日(土)午後 1 時 30 分より「私の頭の中の消しゴム」(2004 年韓国・117 分)を上映します。どなたでもご参加いただける、入場無料の映画会です。ご来場をお待ちしています。

〈守山古文書講座〉

その他にも、自主講座として、守山古文書愛好会主催による守山古文書講座があります。年に 10 回程度の初心者向けの講義で、毎年 5 月ごろに受講者の募集を行っています。

〇〇〇〇としょかんサポートの輪・和・話・環〇〇〇〇

従来から、より快適な図書館にするために、自分のあいている時間に、できることを様々な分野で活動して下さる有志の市民の方々がいらっしゃいます。そして、今年度新たに、図書館のために何かしたいと思ってくださっている方からの発案で「本おなおし隊」が発足しました。おまな活動を紹介します。

〇としょかんかざり隊・・・

- 月 1 回第 4 日曜に、活動しています。季節にあわせたかざりをつくり、図書館にかざってくださっています。
- 〇本おなおし隊・・・不定期に活動しています。紙芝居や本の破れなどを修理してくださっています。
- 〇生け花展示・・・守山市華道協会の有志の方が、交代で玄関に花を生けてくださっています。
- 〇玄関の展示ケース・・・市内の創作活動をされている方から、その作品を展示用として提供いただいています。
- 〇市内お話しボランティアグループ・・・

- 水曜・木曜お話会や、園・学校など館外での出張お話し会などで絵本の読み聞かせをしてくださっています。
- 〇びわ湖の森の生き物研究会・・・今年度、夏期に野洲川に関する連続講座と展示を開催していただきました。

このほかにも、図書館は市民のみなさまのたくさんの支えによって成り立っています。トイシや階段に花を飾ってくださったり、老眼鏡や鉛筆、ボールペンなどを寄贈くださった方もいらっしゃいました。ありがとうございます。

※※サポート活動に参加希望の方、詳しく活動内容を知りたい方、また、このほかにも「こんな活動がしたい!」という方、どうぞ職員にお気軽にお声がけください。※※